

## 四万十町における文化的施設の現状と課題について

平成29年9月30日

- 1 はじめに
- 2 四万十町の人口動態
  - (1) 総人口
  - (2) 年齢3区分別人口・構成比
- 3 図書館利用の現状
  - ・利用者登録状況
  - ・年代別利用者貸出状況（本館・分館）
- 4 各施設の現状と課題
  - ・図書館本館
  - ・図書館大正分館
  - ・美術館
  - ・ふるさと未来館
  - ・民俗資料館
  - ・郷土資料館
  - ・旧大道中学校

# 1 はじめに

2006（平成18）年3月20日の町村合併により総面積642.30㎏を有する町として誕生した本町は、新たなまちづくりの指針として「山・川・海 自然が 人が元気です 四万十町」をまちの将来像とする「四万十町総合振興計画」を策定してまちづくりを推進してきました。

しかしながら、人口の減少や少子高齢化、情報化や国際化の進展等、私たちを取り巻く社会の状況は、かつてないスピードで大きく変化しています。このような社会環境の変化や技術革新に対応していくためには、新しい知識や技術の学習を前提とした「考え方のトレーニング」が必要となります。また、地球規模での環境や安全・安心への関心の高まりなどを背景に、人と人とのコミュニケーションや、ネットワーク形成にも大きな期待が寄せられているところです。

現在、四万十町内にある文化的施設は、施設の老朽化や所蔵物の適切な管理がされておらず、図書館においては蔵書数や閲覧スペースはもとより、町民の多様な活動を支える司書の数など、極めて不十分な状況となっています。

文化的施設とは、赤ちゃんからお年寄りまですべての町民の学びたいと思う気持ちに寄り添い、積極的に自己変革を望む人の知的好奇心や学習意欲に応える生涯学習施設であり、また同時に、地域文化や歴史、産業振興、医療福祉や法律情報など町民の暮らしとコミュニティを支える地域情報拠点としての機能を備えることが重要となります。

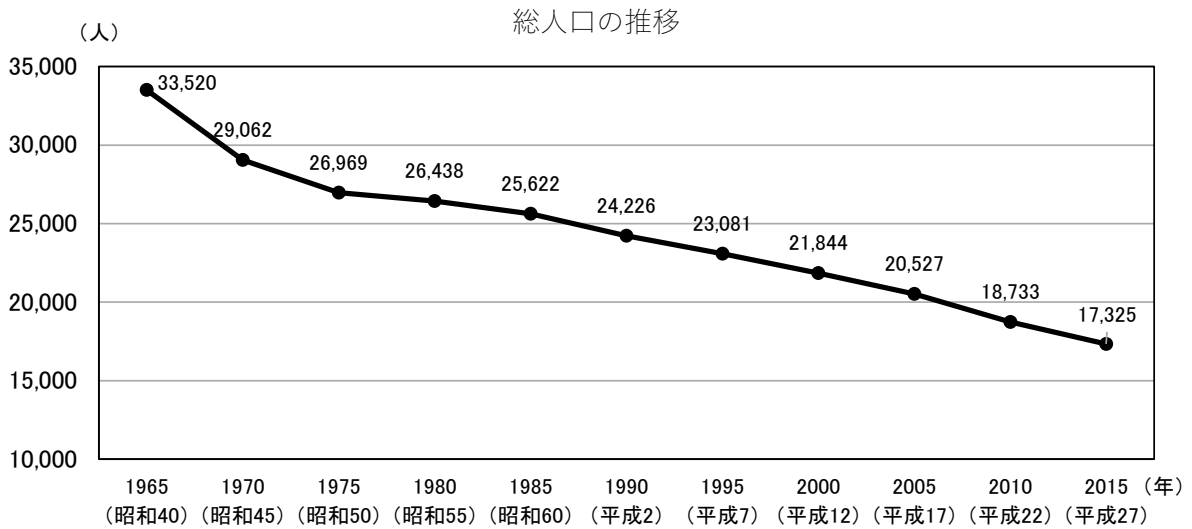
こうした観点に立ち、町内の文化的施設がまちづくりに役立つ情報受発信拠点として、また、町民が憩い、安らぎ、暮らしを楽しむ公共空間として機能することを目指し、今回の検討委員会を開催するものです。



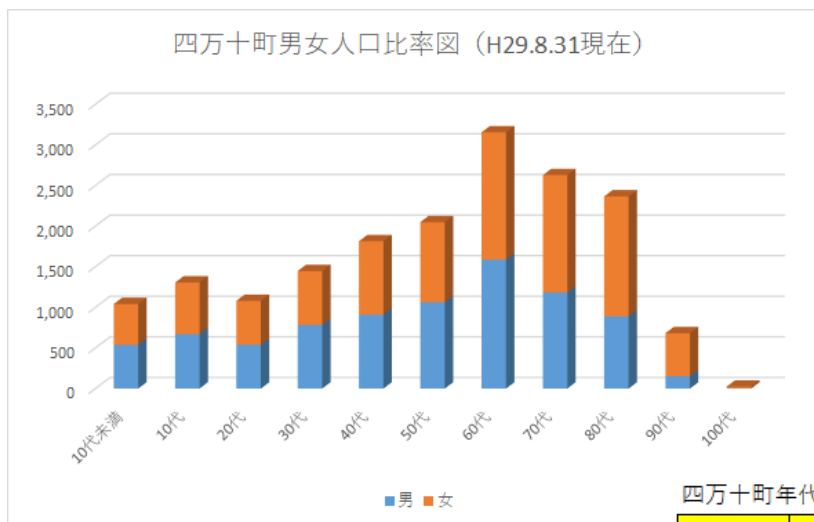
## 2 四万十町の人口動態

### (1) 総人口

本町の国勢調査人口は、1955（昭和30）年の41,912人をピークに減少を続けており、2015（平成27）年には17,325人となっています。



出典：国勢調査



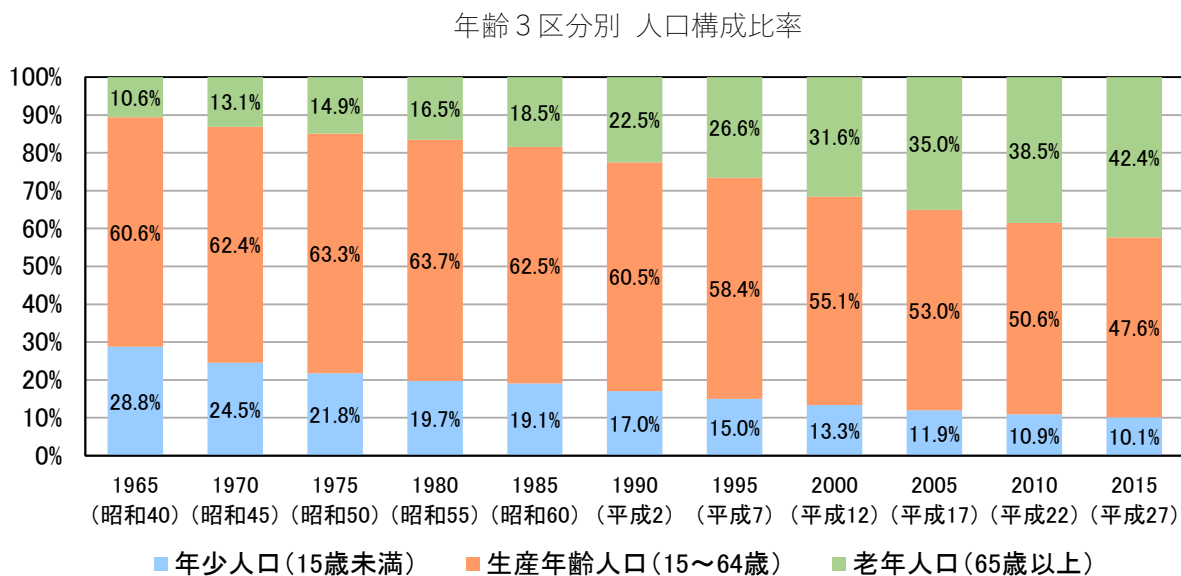
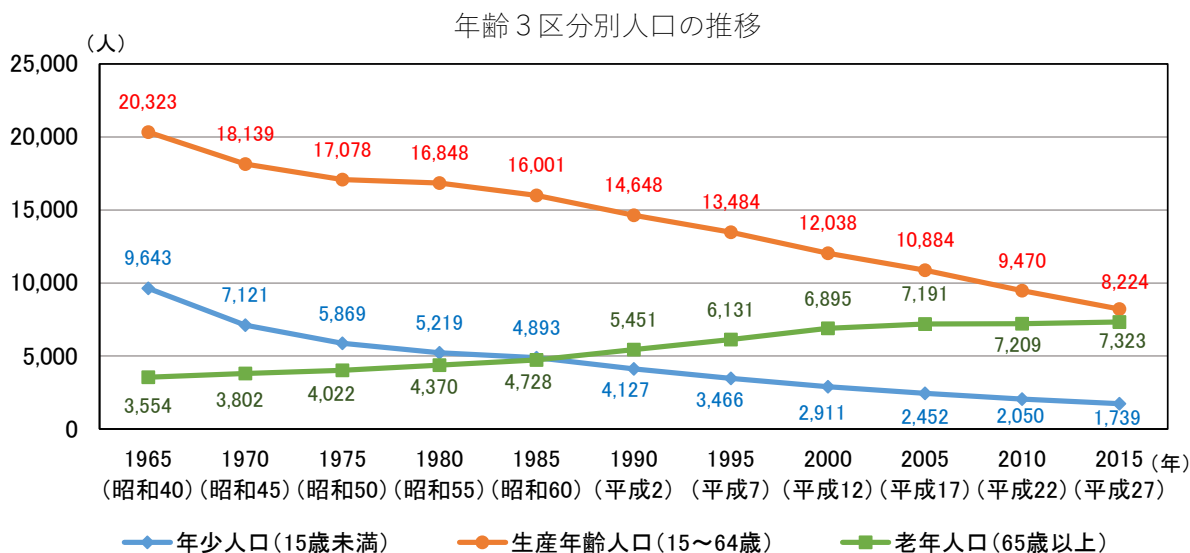
四万十町年代別男女別人口（H29.8.31現在）

| 年代    | 男     | 女     | 計      |
|-------|-------|-------|--------|
| 10代未満 | 538   | 504   | 1,042  |
| 10代   | 669   | 637   | 1,306  |
| 20代   | 540   | 540   | 1,080  |
| 30代   | 783   | 664   | 1,447  |
| 40代   | 909   | 905   | 1,814  |
| 50代   | 1,063 | 986   | 2,049  |
| 60代   | 1,588 | 1,567 | 3,155  |
| 70代   | 1,183 | 1,445 | 2,628  |
| 80代   | 889   | 1,477 | 2,366  |
| 90代   | 154   | 528   | 682    |
| 100代  | 4     | 20    | 24     |
| 合計    | 8,320 | 9,273 | 17,593 |

## (2) 年齢3区分別人口

年齢3区分別人口をみると、生産年齢人口（15～64歳）、年少人口（15歳未満）はともに現在まで減少が続いています。老年人口（65歳以上）については、平均寿命の延伸もあって緩やかに増加を続け、1990（平成2）年には年少人口を上回りました。

年齢3区分別人口構成比率をみると、老年人口（65歳以上）比率は年々増加しており、2015（平成27）年には42.4%となっています。

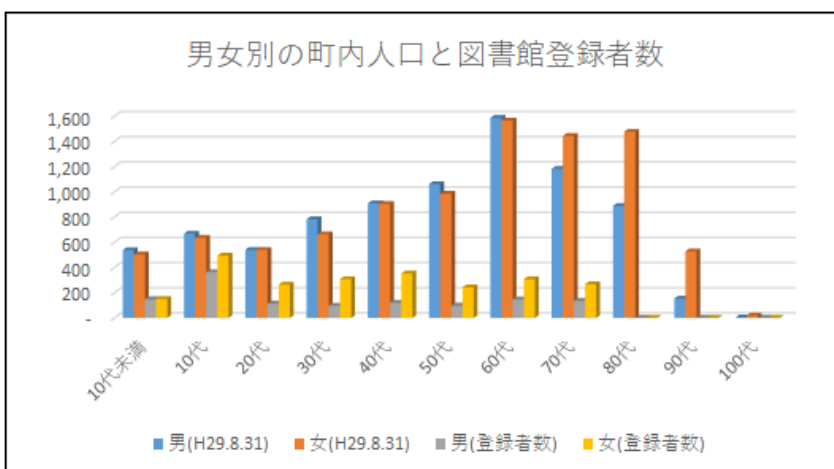
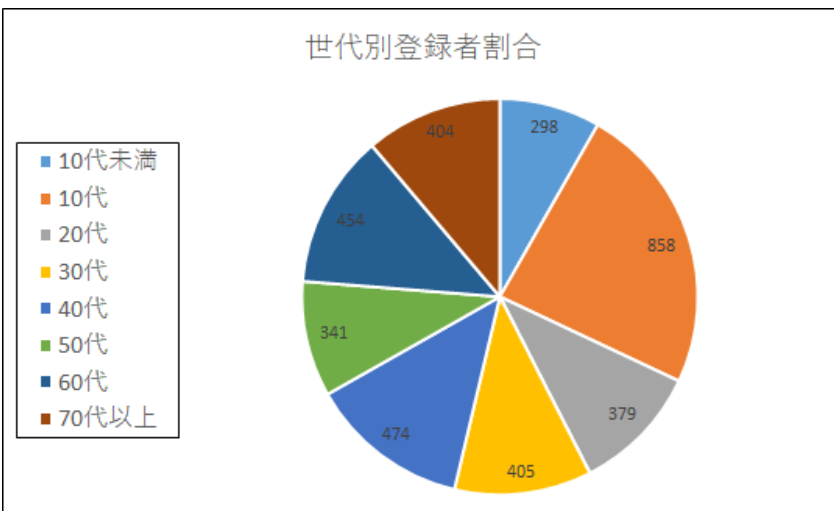
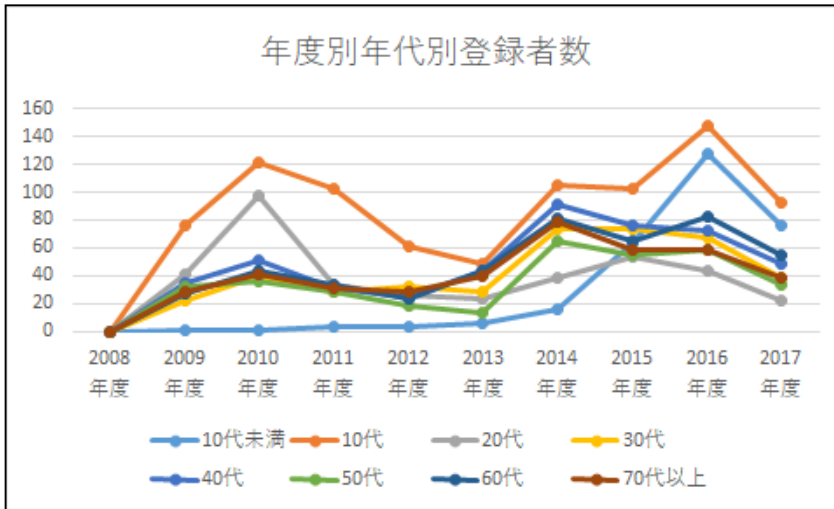


※比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

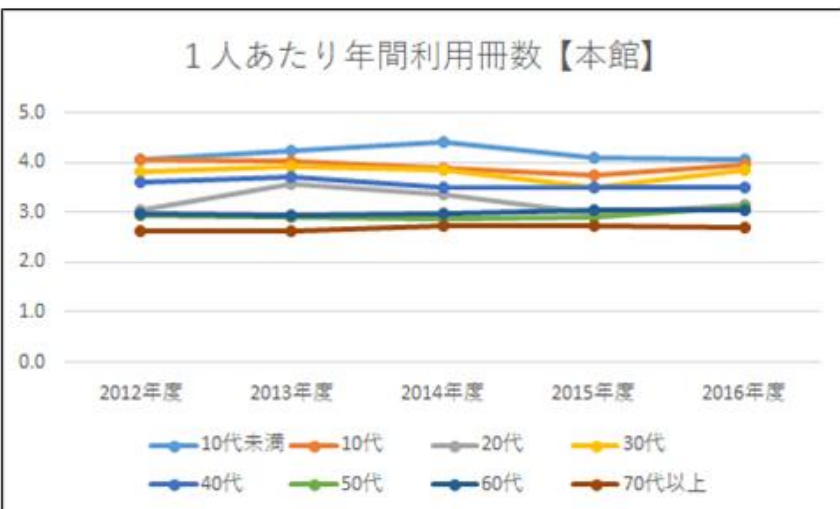
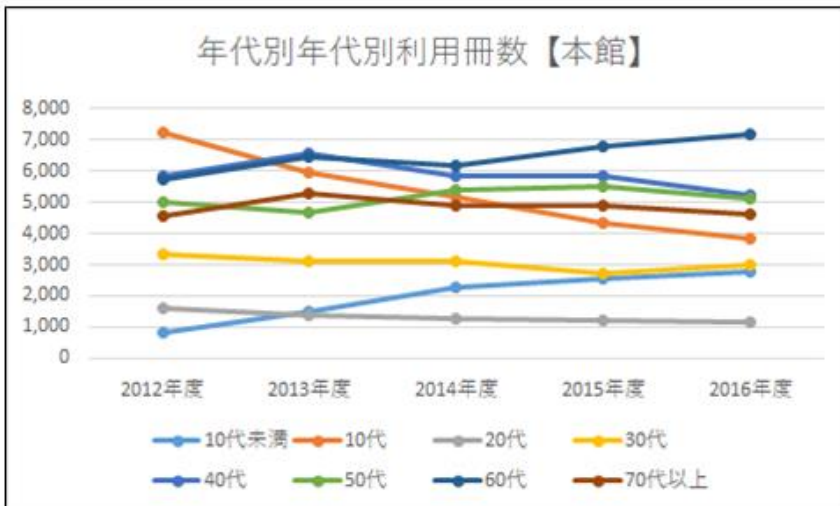
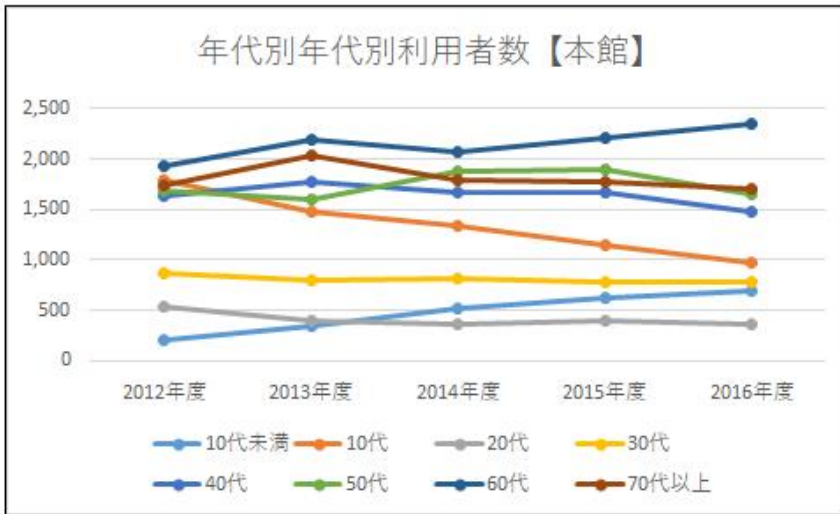
出典：国勢調査

### 3 図書館利用の現状

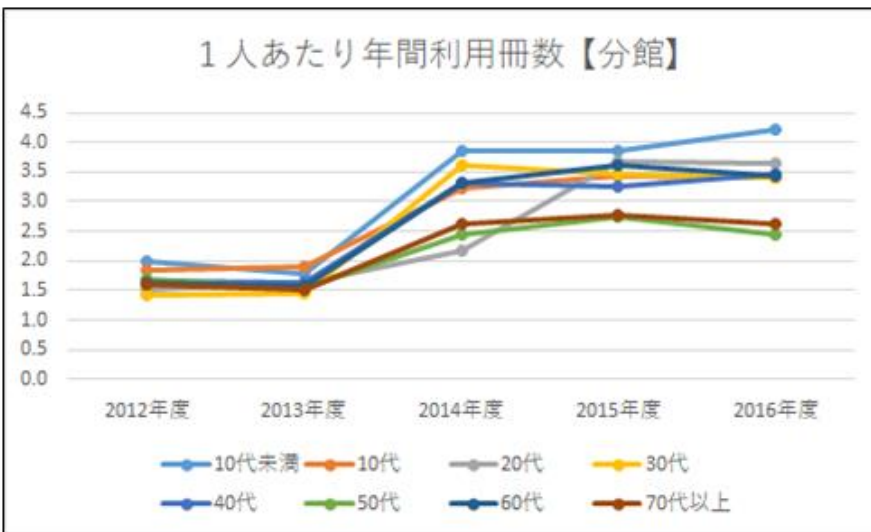
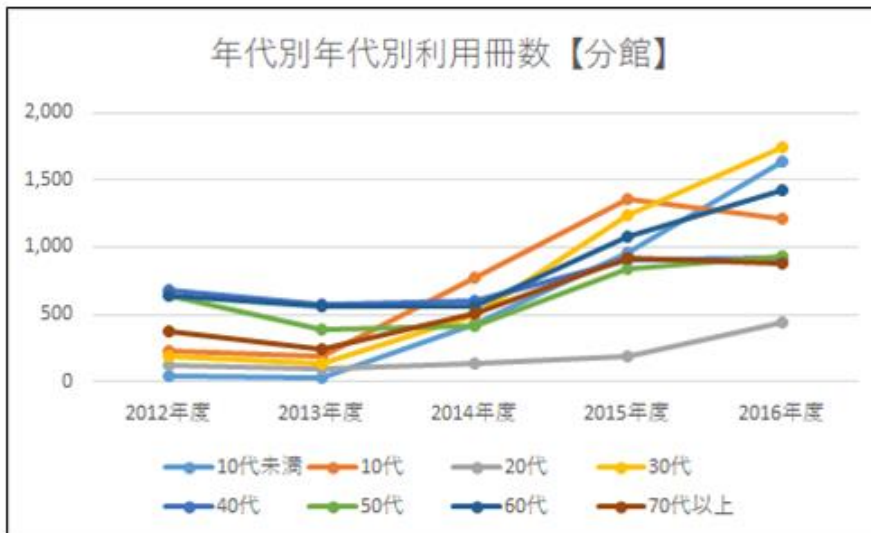
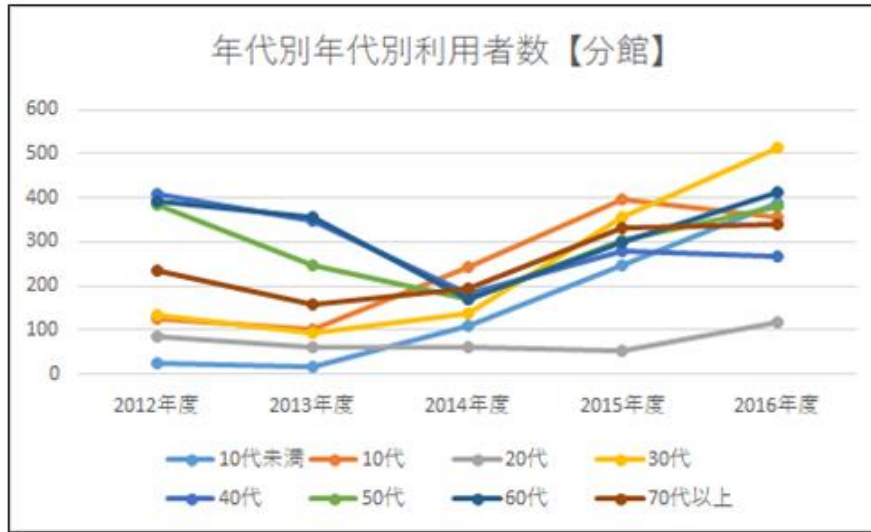
#### ・利用者登録状況（本館＋分館）



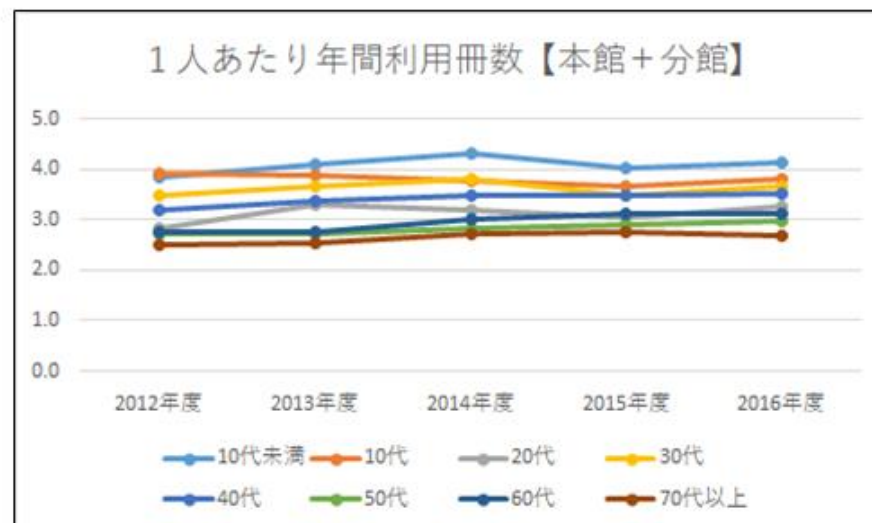
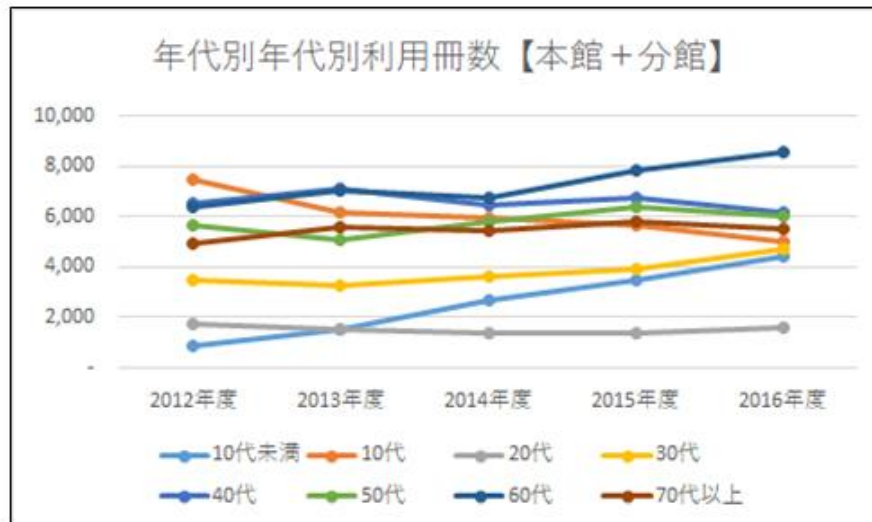
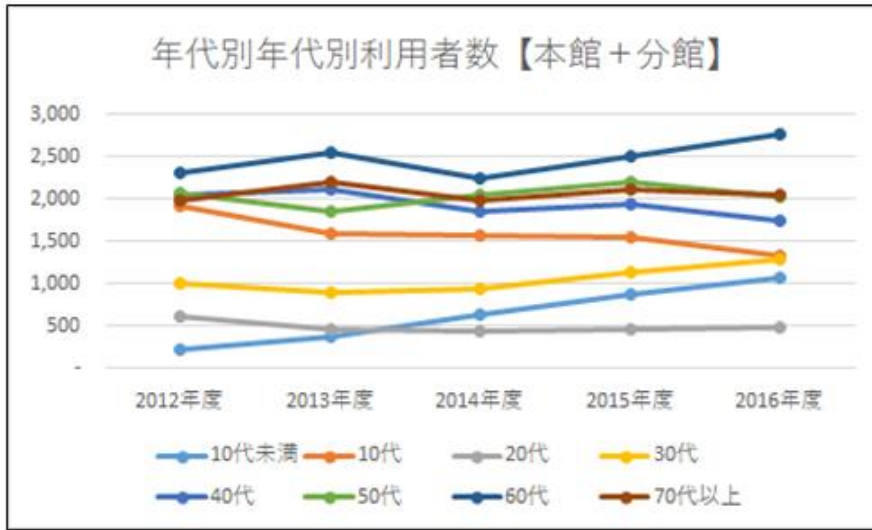
・年代別利用者貸出状況①（本館）



・年代別利用者貸出状況②（分館）



・年代別利用者貸出状況③（本館＋分館）





#### 4 各施設の現状と課題



##### 【町立図書館本館】

|             |  |  |
|-------------|--|--|
| <p>施設概要</p> | <p>業務管理者：生涯学習課<br/>         住所：茂串町 9-20<br/>         開館：平成 12 年 10 月<br/>         開館時間：9:30～18:00（日曜：9:00～17:00）<br/>         建築年月日：昭和 62 年 10 月 9 日（建築確認）<br/>         構造：鉄筋・鉄骨コンクリート<br/>         延べ床面積（㎡）615.65㎡（1F・2F 全体）<br/>         ・使用エリア：229.27㎡（図書閲覧室）<br/>         ・事務室：18.47㎡ ※美術館と兼用<br/>         ・所蔵庫：66.32㎡<br/>         ・駐車場面積：500㎡（図書館・美術館共通）<br/>         台数：11 台（枠分）<br/>         災害区分：洪水浸水区域</p> |  <p>【外観写真】</p> |
| <p>利用状況</p> | <p>（平成 28 年度利用状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者 18,721 人（一般 15,704 人・児童 3,017 人）</li> <li>・個人貸出利用者 10,005 人（一般 8,411 人・児童 1,594 人）</li> <li>・個人貸出冊数 32,947 冊（一般 26,468 冊・児童 6,479 冊）</li> </ul>  |  |
| <p>現状</p>   | <p>嘱託 2 名・臨時 2 名、シルバー人材センターより 1 名の派遣により、日々の業務を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会（おはなしの森・ぬいぐるみおとまり会・クリスマス会）</li> <li>・研修事業（こどもに絵本や読書の橋を架ける連続講座・えほんのはこ・子ども司書養成講座）</li> <li>・学校支援活動（職場体験学習・出張おはなし会・社会科見学・団体貸出・朝読書）</li> <li>・その他（ブックスタート・セカンドブック・読書週間行事作品募集と展示（読書感想画・読書郵便）・ブックリサイクル）</li> <li>・広報活動（ライフ with 図書館・学びの時間）</li> <li>・職員研修（高知県主催の図書館サービス研修・県内図書館関係者の集い等への参加）</li> </ul>                  |  |
| <p>課題</p>   | <p>読み聞かせボランティアの拡充を行い読書活動の普及に取り組んでいるが、地域や学校による偏りも生じている。広域な町へ平準化に取り組むために興津地域をはじめ団体貸出などを行い読書活動の推進に取り組んでいるが、広域サービスとして行えることの模索、利用者の増加も課題である。図書館としてスペースも狭く、別室に児童用の部屋がなく、読み聞かせ活動にも苦慮している。閲覧室や勉強机などの距離、スペースも十分に取れていないため、日々利用者に不自由な思いをさせている。</p>  |  |
| <p>その他</p>  | <p>蔵書冊数 40,798 冊（うち開架冊数 26,339 冊）、年間受入雑誌種類 30 種<br/>         年間受入新聞種類 8 種、図書購入費 210 万円</p>   |  |

## 【町立図書館大正分館】



|             |  |  |
|-------------|--|--|
| <p>施設概要</p> | <p>業務管理者：生涯学習課<br/> 住所：大正 380（大正地域振興局 3F）<br/> 開館：平成 26 年 8 月 1 日<br/> 開館時間：9:30～18:00（日曜：9:00～17:00）<br/> 建築年月日：昭和 56 年 3 月 31 日<br/> 構造：鉄筋・鉄骨コンクリート<br/> 延べ床面積（㎡）625.13 ㎡（地域振興局 3F）<br/> ・使用エリア：255 ㎡（図書館・多目的室等）<br/> ・事務室：34.45 ㎡（図書作業室）<br/> ・所蔵庫：62.15 ㎡<br/> ・駐車場面積：400 ㎡（振興局来局者全体）<br/> 台数：32 台（振興局来局者全体）</p> |  <p>【外観写真】</p> |
|             |  |  <p>【内部写真】</p> |
| <p>利用状況</p> | <p>（平成 28 年度利用状況）<br/> ・入館者 7,124 人（一般 4,423 人・児童 2,701 人）<br/> ・個人貸出利用者 2,779 人（一般 2,060 人・児童 719 人）<br/> ・個人貸出冊数 9,188 冊（一般 6,378 冊・児童 2,810 冊）</p>  |  |
| <p>現状</p>   | <p>嘱託職員 2 名・臨時職員 1 名で主に業務を実施。29 年度は新たに臨時職員を 1 名雇用し、学校図書館の支援業務に取り組んでいる。<br/> ・おはなし会（おはなしだいすき・ぬいぐるみおとまり会・クリスマス会・英語のおはなし会）<br/> ・学校支援活動（職場体験学習・出張おはなし会・社会科見学・団体貸出・朝読書）<br/> ・その他（ブックスタート・セカンドブック・西部地区産業祭）<br/> ・広報活動（ライフ with 図書館・学びの時間）</p>  |  |
| <p>課題</p>   | <p>広域な町の平準化を図りつつ、地域における読書活動の推進のため、平成 26 年 8 月 1 日に大正分館が会館し、大正地域を中心とした読書環境の整備が図られたが、十和地域については、地域振興局内に図書コーナーがあるのみである。昭和地域にて団体貸出を行い、支所便を活用しながら学校への図書支援を行っているが、大正・十和地域全体の平準化と読書活動の推進の取り組みが急務である。</p>   |  |
| <p>その他</p>  | <p>蔵書冊数 24,138 冊（うち開架冊数 19,194 冊）<br/> 年間受入雑誌種類 27 種<br/> 年間受入新聞種類 6 種<br/> 図書購入費 190 万円</p>   |  |

## 【美術館】

|             |   |  |
|-------------|---|--|
| <p>施設概要</p> | <p>業務管理者：生涯学習課<br/> 住所：茂串町 9-20<br/> 開館：平成 12 年 10 月<br/> 開館時間：10:00～17:30<br/> （日曜：10:00～16:30）<br/> 建築年月日：昭和 62 年 10 月 9 日（建築確認）<br/> 構造：鉄筋・鉄骨コンクリート（一部木造）<br/> 延べ床面積（㎡）615.65 ㎡（1F・2F 全体）<br/> ・使用エリア：85 ㎡（美術展示室）<br/> ・事務室：18.47 ㎡ ※図書館と兼<br/> ・所蔵庫：119.02 ㎡<br/> ・駐車場面積：500 ㎡（図書館・美術館共通）<br/> 台数：11 台（枠分）<br/> 災害区分：洪水浸水区域</p> |                              |
|             |   | <p>【外観写真】</p>  <p>【内部写真】</p> |
| <p>利用状況</p> | <p>平成 28 年度 入館者 1,838 人<br/> 現状のとおり</p>   |  |
| <p>現状</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館副館長（図書館兼務）・嘱託 1 名（図書館司書）、臨時 1 名（図書館兼務）で業務を実施。</li> <li>・町内在住者や町に縁のある方の展覧会を年間通じて実施している。平成 28 年度は年間 6 回の展覧会を実施。29 年度は 7 回開催予定。</li> </ul>  |  |
| <p>課題</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該施設は所在地が低地であるため、台風等による水害が発生する度に貴重な作品に水没等による被害が心配される状況にある。</li> <li>・本より美術館として建築された建物でないため、作品の展示・収蔵における温度や湿度の管理が不十分である。また購入や寄贈いただく作品の収蔵スペースも十分ではなく、水害に対応するためにも安全な場所に収蔵庫を確保するなど移転も踏まえた早急な対応が必要である。</li> </ul>  |  |
| <p>その他</p>  | <p>収蔵作品（※平成 29 年 3 月 31 日現在）<br/> 絵画：505 点<br/> 書作品：171 点<br/> その他：13 点</p>   |  |




**【四万十町民俗資料館】旧営林署**

|             |   |  |
|-------------|---|--|
| <p>施設概要</p> | <p>業務管理者：無し<br/>         住所：大正 430-1<br/>         開館：無し<br/>         開館時間：無し<br/>         建築年月日：昭和 29 年（平成 2 年に旧営林署官舎を払下げにより取得）<br/>         構造：木造切り妻造り鉄板葺き平屋<br/>         延べ床面積（㎡）：271.79<br/>         ・使用エリア：271.79<br/>         ・事務室：－<br/>         ・所蔵庫：－<br/>         ・駐車場面積：無し<br/>         台数<br/>         災害区分：土砂災害警戒区域</p> |  <p>【外観写真】</p> |
|             |   |  <p>【内部写真】</p> |
| <p>利用状況</p> | <p>現在一般開放はしていない。</p>  |  |
| <p>現状</p>   | <p>築 60 年以上が経過しているため、屋根や窓枠等の破損が進んでおり、壁が剥がれ落ちたり雨漏りがしたりと老朽化が激しい。<br/>         また、近隣の住民からは、大地震時の倒壊により避難路をふさぐ等の危険性があることから、対策を急ぐように申し入れがある。</p>  |  |
| <p>課題</p>   | <p>重要文化的景観の重要な構成要素になっているため、取り壊しはできないこと及び上記の現状からも、早急に耐震化と修繕が必要。<br/>         郷土資料館が平成 3 年に建築されたことにより、民俗資料館としての役割は終えているのではないかと。この際、条例を廃止して資料の保管場所としてのみ利用するようにはどうか。</p>  |  |
| <p>その他</p>  | <p>古文書、農具、山林具 他 1,598 点</p>   |  |

**【四万十町郷土資料館】門脇家のよこ**

| <p>施設概要</p> | <p>業務管理者：住民グループ「大正かざぐるま」<br/>         住所：大正 32-1<br/>         開館：平成 3 年 8 月<br/>         開館時間：10 時～15 時（月曜休館）<br/>         建築年月日：平成 3 年 7 月 31 日<br/>         構造：木造瓦葺平屋<br/>         延べ床面積（㎡）：299.23<br/>         ・使用エリア：299.23<br/>         ・事務室：－<br/>         ・所蔵庫：－<br/>         ・駐車場面積：無し<br/>         （轟公園の駐車場を利用可）<br/>         施設内容：文化的資料の展示場<br/>         災害区分：土砂災害警戒区域</p> |  <p>【外観写真】</p> |    |      |       |          |         |             |          |         |             |          |         |             |
|-------------|--|--|----|------|-------|----------|---------|-------------|----------|---------|-------------|----------|---------|-------------|
|             |  |  <p>【内部写真】</p> |    |      |       |          |         |             |          |         |             |          |         |             |
| <p>利用状況</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入館者数</th> <th>維持管理費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>1,182 人</td> <td>2,321,998 円</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年度</td> <td>1,659 人</td> <td>2,211,924 円</td> </tr> <tr> <td>平成 28 年度</td> <td>1,335 人</td> <td>2,519,681 円</td> </tr> </tbody> </table>   |  | 年度 | 入館者数 | 維持管理費 | 平成 26 年度 | 1,182 人 | 2,321,998 円 | 平成 27 年度 | 1,659 人 | 2,211,924 円 | 平成 28 年度 | 1,335 人 | 2,519,681 円 |
| 年度          | 入館者数   | 維持管理費  |    |      |       |          |         |             |          |         |             |          |         |             |
| 平成 26 年度    | 1,182 人  | 2,321,998 円  |    |      |       |          |         |             |          |         |             |          |         |             |
| 平成 27 年度    | 1,659 人  | 2,211,924 円  |    |      |       |          |         |             |          |         |             |          |         |             |
| 平成 28 年度    | 1,335 人  | 2,519,681 円  |    |      |       |          |         |             |          |         |             |          |         |             |
| <p>現状</p>   | <p>住民グループ「大正かざぐるま」のメンバー5名（パート雇用による賃金）で、施設の管理及び来館者への対応等を行っている。<br/>         町内の児童生徒の社会科見学や、隣の旧門脇家で行う四万十街道ひなまつり、七夕やお月見といった季節の行事とも連携し、入館者数の確保に努めている。</p>  |  |    |      |       |          |         |             |          |         |             |          |         |             |
| <p>課題</p>   | <p>展示物の入れ替えがほとんどできていない。</p>  |  |    |      |       |          |         |             |          |         |             |          |         |             |
| <p>その他</p>  | <p>古文書、農具、山林具、縄文時代の石器 他 1,422 点</p>  |  |    |      |       |          |         |             |          |         |             |          |         |             |

【旧大道中学校】

|             |  |  |
|-------------|--|--|
| <p>施設概要</p> | <p>業務管理者：<br/> 住所：四万十町大道 1351 番地 12<br/> 開館：<br/> 開館時間：<br/> 建築年月日：<br/> 構造：鉄筋コンクリート<br/> 延べ床面積（㎡）：782<br/> ・使用エリア：大道中学校 2 階 2 年生・3 年生<br/> ・事務室：<br/> ・所蔵庫：<br/> ・駐車場面積：        ㎡<br/> 台数：<br/> 災害区分：土砂災害警戒区域</p> |  <p>【外観写真】</p> |
| <p>利用状況</p> | <p>地元住民が調理室等を利用している。<br/> 計画的な利用状況はない。</p>   |  |
| <p>現状</p>   | <p>旧昭和村役場に保管してあった民具等を移動させているが、保存状態はとても悪い。</p>  |  |
| <p>課題</p>   | <p>保存状態がよくないため、今後の保存の仕方、活用を考えていく必要があるが、費用効果的には難しいと思われる。<br/> 現状としては「旧大道中学校に民具を放置」に近い状態となっている。</p>  |  |
| <p>その他</p>  | <p>668 点の民具等が保存されている。</p>  |  |



【内部写真】